

XD Exhibition 2013

申請：環境情報学部4年 中垣拳 指導教員：笈康明

実施概要

展示会名：XD Exhibition 2013

会期：2/23-24

時間 両日 10:00~19:00

会場 Catalyst BA 二子玉川ライズ・オフィス8階

主催 XD Exhibition 実行委員会

学生代表 山岡潤一 教員代表 笈康明

後援 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科エクス・デザイン (XD) プログラム

協賛 カタリストBA

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

東京急行電鉄株式会社

東急不動産株式会社

ホームページ <http://xd.sfc.keio.ac.jp/xd2013/>

目的

今回で5回目の開催となるXD Exhibitionでは、《デザイン・アート・コミュニケーション》《認知・インタラクション・インターフェース》《まち歩き・観察・コミュニティ》《コンピューテーション・マテリアル・アルゴリズム》の4つの領域に横断する30以上の作品を展示した。複数の研究室合同で開催することによって、他研究室との交流の場や、当展示会を通してSFCにおけるデザイン活動、トークセッションではデザインの意味を知ってもらう機会を提供する。

当日のプログラム

2月23日（土）

1) トークセッション「認知・インタラクション」

（笥康明、 暦本純一、 渡邊恵太、）

2) トークセッション「まちを知る感性を育てる」

（加藤文俊、 石川初、 東浦亮介）

2月24日（日）

1) トークセッション コンピューテーション マテリアル・アルゴリズム

「アーキテクチャとコンピューテーション」（脇田玲、 松川晶平）

2) トークセッション「フリーランスデザイナーを始めた頃」（山中俊治、 水野学）

3) トークセッション「OBに聞く、SFCのデザイン」

（近森基、 岩岡孝太郎、 齋藤達也、 脇田玲、 山中俊治、 岩竹徹、
水野大二郎、 柿崎勇晃）

今後の展望

本展示を通して、他研究室の学生との交流ができ、ゲストのトークセッションによりさらなるデザインの意味の理解を深められた。今後もデザインについて発表、及び考えて行く場を作って行きたい。

謝辞

本展示開催にあたってご協力頂いた XD プログラムの皆様、来場者の皆様に感謝したい。本研究は、2012 年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」の支援の下に行なわれた。